

高収益な農業に取り組む現場から学ぶ
— 土地改良事業の実施地区から —

平成28年12月
農林水産省

「いさはやポテト元気くん」の産地強化と低コスト化の推進 【長崎県諫早市】

いさはやし

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- 担い手への農地集積や経営規模拡大とともに、農業機械の共同利用など**生産コスト低減の取組**も推進。
- **直売所開設**による**地元特産品の消費拡大の取組**を促進し、来場者数、販売額ともに増加。
- 安定した品質・量の出荷による市場評価の高まりを受け、**関西及び中国地方へも販路を拡大**。

【取組地域の概要】

- 位置 長崎県諫早市（急傾斜地帯指定）



- 整備面積：316ha
- 傾斜：平均9.8%
- 主要作物
 - ・馬鈴薯、人参、大根、カーネーション
- 主な支援施策
 - ・県営畑地帯総合整備事業（H8～H23）
 - ・経営構造対策事業（H17・H18）
 - ・多面的機能支払交付金（H19～）

畑地かんがい施設の整備による 労力の軽減と品質・収量の安定化

畑地かんがい施設の整備や区画整理による農業機械の導入により、かん水等に係る労力の軽減や高収益作物の安定した品質・収量による生産が実現。



基盤整備
(H8年～H23年)

【整備前】

狭小で不整形な畑地が多く、道路も未整備であったため、大型農業機械の導入が困難。また、**用水不足等によって計画的な作付が困難**であり、経営規模拡大の阻害要因となっていた。



基盤

輪作体系の確立による連作障害の軽減

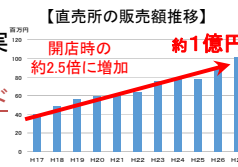
- 畑地かんがい施設の整備により、自由な水利用が可能となったことで、「ばれいしょ」+「にんじん」又は「だいこん」の輪作体系が実現し、連作障害を軽減。
- 共同機械利用組合の設立による**大型農業機械の共同利用や遠隔操作によるヘリ防除などの省力化**にも取り組む。



生産現場

直売所を拠点とした消費拡大への取組

- 選果場の整備によって共販による流通・販売体制を構築。ばれいしょの安定出荷の実績により、高い市場評価を獲得。
- 生産者の所得向上を目的に**有志で直売所を開設**。情報発信を通じて確実に販売額を伸ばすとともに、生産部会が「いさはやポテト元気くん」のブランド名で**関西・中国地方を中心とした更なる販路開拓**にも取り組む。



加工・流通

担い手の育成と経営規模の拡大

- 営農の効率化により、地区内の担い手55戸のうち、30戸で後継者を確保。**整備後（H26：116ha）の担い手による経営面積は、整備前（H8：64ha）と比較して約1.8倍に拡大**。

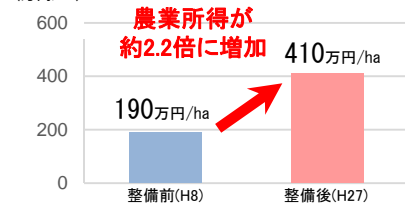
担い手

生産体制の構築を通じたブランド販売等による1ha当たりの農業所得の向上

- 担い手による経営規模拡大や**安定した販売体制の構築**に取り組むほか、**直売所を中心とした消費拡大への取組**を通じて、**販売額が増加**（直売所の年間来場者数は10万人を超え、平成27年度の販売額は1億円を突破。）
- また、市場評価の高まりを受けた販路拡大によって春作ばれいしょの販売額が増加。**1ha当たりの農業所得の向上に結びついている**。



飯盛地区における農業所得（1ha当たり）の変化
(万円/ha)



【出典：長崎県農村整備課試算（生産実績をもとに地区内1ha当たりで算出）】